



市報

みのかも

52年

11月号

No.221

人口の動き

10月1日現在

総人口 38,643人

男 19,200人

女 19,443人

(昨年同月 +326)

世帯数 9,731世帯

(昨年同月 +138)

豊かな心を養う

大きな収穫

としておくとべんりです。

伊深小で稲刈り

九月十三日、伊深小学校五年生十九人は、稲の生育を観察するためこの春から学校田で稲作を進めていましたが、実りの秋を迎えて稲穂も黄金色に色つき、稲刈りやはざ干し作業などを実地に体験しました。



広報メモ



健康

健康
空気が乾いて、冷たい風が吹いてくると、かぜやぜんそくなど気管の病気が多くなります。ふだん病氣らしい病氣をしたことのないかたは「かぜなんか」と病氣の仲間からはずして考えているようですが、とんでもありません。軽い かぜなら暖かくして、静かに寝ていればたいい治りますが、ぜんそくのある方は、しろうと療法は禁物です。いちど専門医に診てもらって正しい指導を受けてください。「かぜは万病のもと」といわれるのは、かぜの症状ではじまる重い病氣が多いからです。

また、寒くなると血圧があがるというかたが多いようです。血圧は体温と同じように、その人の平均的な最高と最低が健康の目安のひとつになっていますから、年令に関係なく、最高百十から百五十、最低はその三分の二が、いちおう健康状態の基準となります。

新市政に のぞむ

高橋市長が誕生してからまだわずかですが、街角で会った市民のみなさんに、新しい市政に何を望むかを聞いてみました。その結果は……。

親しみある市政



古井町 加納 証

住民のための組織であるべき自治会は、ともすると行政の下請的な存在として位置づけられ、市民はその執行により利益を受けた場合は行政(お上)がやってくれたといううた意識に満足し、不利益をこうむった時は陳情とか、住民運動とかの形で不満を市政に向け、

権利のみを主張する風潮が顕著になっていっていると思いますが、私たちが血の通った行政、効率的な市政を求めるならば、みずからが住民自治(自律)と自覚の意義をじゅうぶんに認識せねばなりません。

総論賛成、各論反対といったことではなく、権利の主張と同等の義務の履行がなされる方向で市民意識の高揚がされなければならぬと思います。

市当局はむろん、市民もこのようになことをしっかり認識することが肝要だと考えます。

また、今後市民社会に占める住民の役割はいっそう深まり、市民対話が市政の栄養源になることを考えた時、住民と行政とのかわ

りあいと大切にして、市民の連帯意識を基盤にした、底辺から築きあげた親しみある市政であってほしいと願うものです。

限られた市財源でしようが、ビジョンを明確に掲げて、総花的にならない効率の高い行政がなされる前年度踏襲実績主義によらず、思想、あるいは政治の方向としての中正の堅持も必要だと思います。

行政からすれば、市民から知識を提示していただき、市民から知識のある知恵を提供するといった、努力を行うならば、住みよい市民社会が必ず建設されると信じます。

そして「心と物」の調和のとれた社会の実現には、行政体と市民が互いに良い意味での批判と監視を忘れることがあってはならないと思います。

心のふれあいを



蜂屋町 日江井敬子

済経の高度成長のもととくく物質主義に押し流され、自己を顧みることの余裕をもたないような今日です。いかなる時代でも婦人の役割は社会にとっても、家庭に

とってもかけがえのない立場だと思えます。

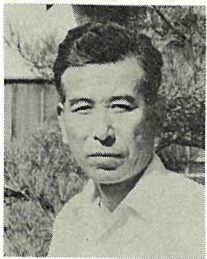
そこで、公民館での文化活動を活発にすることが大事だと考えられます。

市で開かれていた文化講座に、おとしよりから若年層に至るまで身近なことから学習し、横のつながりを深めたいと思います。私もあるサークルに参加させていただいていますが、月に一回の会合がとても楽しみです。

趣味をとおしてお互いの交流をはかり、親睦を深め学習することが生きがいの一つだと思います。

そして、年長いても自らをみがき、取り残されないような賢明な婦人でありたいと思います。

産業の発展を



加茂野町 板津政夫

大美濃加茂市をめざしたマスタープランも、高度成長から低成長時代に入ったとはいえ軌道修正されることなく着々と進められていますが、心強いのは、とくに問題となる地方自治行政に豊富な経験と卓越した手腕を持たれる高橋市長さんによって、この基本計画にこそ肉づけされることです。

一口にいって地方都市の発展は地場産業が基盤となっています。

例えば、近隣の市を見ると、長い歴史の中からその地の特色を生かして「刀都」あるいは「陶都」とかいわれる街になっています。

では、本市はどうでしょうか。太田宿に始まり大正末期の鉄道の開通によって脚光を浴びたとはいえ、交通の要衝でしかなかったのがおいたちです。

こうしたことは市政執行者のみならず、市民も一体となって考え

る時ではないだろうか。

つまり、未来への投資のウェイトが多様化している現代にとわね過ぎて、なおさらにされてはいないかということです。

特に、地方自治体においては、施策も住民サイドの色彩が強く、総花的になりやすい。学校の改革などはヤンヤのかっさいを受けるが、真の教育は器ではない。寺小屋からでも結構維新を成し遂げた偉人が出ているのではないかとしたい。

国においても近く第三次全国総合開発計画が正式発足されようとしている矢先でもあり、中京経済圏に位置する地方都市として、それこそ「活力あるまちづくり」に「いっそう力を尽くされることをお願いしたい。

精神面の豊かさを



山之上町 高井誠吾

美濃加茂市が、更に発展し、物質的にも精神的にもゆとりある住みよい社会づくりの為に二層の努力をお願い致します。

そこで、私自身が考えている一

端を述べてみます。

市長は美濃加茂市の行政においての長であることは申すまでもなく、それと同じく、美濃加茂市民一同の親であってほしいと思います。その意味から、一人一人が、老人、先輩、親に対して報恩と感謝のこころをもつことを啓発して頂きたいと思います。

今日繁栄した社会において何ん自由なく、生活を営むことができるのは、老人、先輩、親の勤勉と努力、苦勞によって築かれたところにあるのです。

年老いた親を不幸にしては、自分の老後も決して幸せになれないということは、当然であると思います。私たち美濃加茂市民がこぞ、このこころをもたなくてはいけないと思います。

行政においても、そうした意識をつくり上げる様な体制づくりが必要だと考えられます。

また、美濃加茂市の将来を担う子供に対しても、家庭におけるところの教育はもちろんであります。市の方針としましては児童、幼児への道徳教育の充実をお願いするものです。

今こそ私たちが、単に物質的な面だけでなく、特に精神的な面において、老人、先輩、親に対する感謝と報恩のこころをもってこそ、真の新しい幸せな社会づくりにならざると思ひます。

人づくりのために



太田町 片桐陽子

私たちの美濃加茂市は、交通と買物の便利な点において住みやすくてよい街だと思ひます。

しかしそれと同時に、何本もの国道が交差する交通の要であるため、交通事故の多いことに驚きます。こうしたことから、じゅうぶんとは言えないにも信号機や横断歩道の整備もされているようですが、病院の近くに住んでいる私は、毎日のように救急車のサイレンをよく耳にします。

交通安全については、警察や市で活発な広報活動が展開され、また、これと並行して婦人や子どもたちの交通安全意識向上のために自らが参加する交通安全教育などが広く行われ、市民もじゅうぶん理解しているはずなのに、私も時として危険な通行手段を取ることもしばしばあります。

この私のような人もたくさんおられると思いますが、市政執行のうえにおいて、安全施設の充実、あるいは単なる掛け声の交通安全

農家に「救い」を



下米田町 後藤佳一

運動だけにとどまらず、住民全体の心にしみ込むような交通安全活動にすため、市民にアイデアを広く募集するなどの活動をされてはどうでしょうか。

私は現在、ボランティア活動に参加しています。したがって公共施設を利用する機会が多くありますが、市民が何の気がねもなく自由利用できる施設があったらと思います。それに加えて、ほんの一例にすぎませんが、私たち学生のためにも図書館といえなくとも、ある程度の蔵書が開放されるような所がほしいと思います。

こうした開放施設の充実、とかく人の和が保たれない今日、人と人とのつながりをいっそう深めるためにも大いに役立つと思います。しいてはこれが、明るい美濃加茂市づくりのひとつにもなるのではないのでしょうか。

市民の多くの期待を受けて、高橋市長が誕生され、私もこの期に文化的な田園都市を築いていただ

きたいと存じ、農業に生きる一人の老人として小さな願いをいただきました。

かつて私は農家の後取りとして若い頃から農作業に汗を流し早朝の星を見て野良仕事に出かけ、月の明りで帰宅するといった事を続け、土にこそしみ、土に生きてきました。

今では息子が後を継いでくれていますが、農作業も近代化し、月の明りで帰宅するといったこともなくなりました。私は節くれ立ち、アカギレができた手を思い出し、いま世がいかに良くなったかがひしひしと感じます。

この秋も田んぼから農民の命といえるお米が収穫されています。食生活の変化など大きな問題から国では米減らしのための減反施策が行われ、私のような老農民は一種のともども感じていたことでしょう。三ちゃん農業といわれだしてからずいぶん時が過ぎましたが、今なおこのような状態は無くならずとは思われません。

それがためには、百姓の家には嫁の来てが無いとうわさされる農家でなく、若者が希望を持てるような魅力ある農家育成に、今にも増して力強く指導されることを念じてやみません。

親子が、夫婦がそして嫁が共に農作業に精が出せるような時代がくれば……。

白っぽい服装を

夕暮れどきの事故防止

加茂警察署管内の交通事故死者数は、昭和四十五年の約六十人にあたる十二人が亡くなっています。今年はずに十月二十日現在、例年のペースを上回る七人が亡くなっています。夕暮れ時は、歩行者も車の運転者も安全が確認しにくくなります。が、こうした時にこそ次のようなことに十分注意しましょう。

加茂警察署管内の交通事故死者数は、昭和四十五年の約六十人にあたる十二人が亡くなっています。今年はずに十月二十日現在、例年のペースを上回る七人が亡くなっています。夕暮れ時は、歩行者も車の運転者も安全が確認しにくくなります。が、こうした時にこそ次のようなことに十分注意しましょう。

加茂警察署管内の交通事故死者数は、昭和四十五年の約六十人にあたる十二人が亡くなっています。今年はずに十月二十日現在、例年のペースを上回る七人が亡くなっています。夕暮れ時は、歩行者も車の運転者も安全が確認しにくくなります。が、こうした時にこそ次のようなことに十分注意しましょう。

加茂警察署管内の交通事故死者数は、昭和四十五年の約六十人にあたる十二人が亡くなっています。今年はずに十月二十日現在、例年のペースを上回る七人が亡くなっています。夕暮れ時は、歩行者も車の運転者も安全が確認しにくくなります。が、こうした時にこそ次のようなことに十分注意しましょう。

加茂警察署管内の交通事故死者数は、昭和四十五年の約六十人にあたる十二人が亡くなっています。今年はずに十月二十日現在、例年のペースを上回る七人が亡くなっています。夕暮れ時は、歩行者も車の運転者も安全が確認しにくくなります。が、こうした時にこそ次のようなことに十分注意しましょう。

加茂警察署管内の交通事故死者数は、昭和四十五年の約六十人にあたる十二人が亡くなっています。今年はずに十月二十日現在、例年のペースを上回る七人が亡くなっています。夕暮れ時は、歩行者も車の運転者も安全が確認しにくくなります。が、こうした時にこそ次のようなことに十分注意しましょう。

消防広場を開催

秋の火災予防運動始まる

冬の到来を間近にして、これからは暖房器具を中心に火を取り扱う機会が多くなります。そこで、今年も十一月二十六日から十二月二日まで、「使う火を消すまで離す目と心」の統一標語で、秋の全国火災予防運動が行われます。

石油ストーブは移動や管理、取り扱いが極めて簡単なことから、現在ももっとも多く使われている暖房器具です。しかし、この石油ス

わだい

話題



虫とりを楽しむ

10月13日、古井第二保育所の園児（百二十人）は、自然とのふれあいを求めてライン公園の草原で虫とりを行いました。

園児たちは飛び交うバッタや赤とんぼを、帽子を片手に追い求めて自然を満喫していました。



消防車の入魂式

11月22日、中消防署（太田町）に消防力強化のため、最新鋭の水そう付消防ポンプ車1台が備えられました。

ポンプ車には夜間火災のための発電機も取り付けられています。

パコをやめるなど火災のない我が家を実現するため、次の事がらを中心に防火チェックをすることにも、防火について考えてみてください。

- 寝たばこやたばこの投げ捨ては絶対にやめましょう。
- 石油ストーブや暖房器具の使い方に気をつけましょう。
- お年寄りや幼児の安全な避難の方法を確かめておきましょう。
- 消火器を備え、使用方法を理解しておきましょう。

● 今月27日に市役所で
可茂消防一部事務組合では、市民のみなさんの火災予防の知識の向上と普及、ならびに、可茂消防の日頃の消防業務をいっそう理解していただくため、次のような消防の広場を開催します。

特に、この催し物は消防と接する機会が少ない人々のために、防火なんでも相談をはじめ消火実習などが行われますので多数おこしください。

◎日時 十一月二十七日（日）午前十時～午後四時
◎場所 市役所前広場
◎内容
・特別消防隊訓練の実演
・防火相談所の開設
・防火・防災映画の集い
・消防車の展示
・防火啓蒙風船プレゼント
・消火実習室 ほか

お知らせ



新成人の
作文を募集

市教育委員会では、はたちを迎えるみなさんから、自分の考えや、感じていることの作文を募集します。

募集いただいた作文は、最優秀者を選び昭和53年の成人式典において発表していただく予定です。そのほか優秀者を表彰しますので、みなさんからの応募をお待ちしています。

【応募要項】

- ・テーマ
①わたしの選んだ道
②わたしの家族・家庭観
③わたしたちをとりまく社会環境
④わたしにとっての青春
- ・以上のうち一つを選び、400字詰原稿用紙4枚程度にまとめ、住所、氏名、電話を記入のこと。
- ・該当者 昭和32年4月2日から昭和33年4月1日までの出生者

特別公演

日本民族舞踊団

今月27日・中濃体育館で

中濃体育館の五周年を記念して国際芸術家センターの『日本民族舞踊団公演』が行われます。わが国には能楽、雅楽、歌舞伎など世界に誇る伝統芸能があり、生活の中から生れた民族芸能も貴重な存在です。また、現在各地に伝承されている民俗芸能は、いずれも昔から愛護・継承されてきた文化遺産でもあります。これらの民俗芸能の原形をそこなうことなく、しかも新しい現代



舞踊団公演の一場面

感覚で世界各国で踊りを披露するのがこの舞踊団です。文化の秋、芸術の秋といわれる頃、各地では多くの文化行事が行われますが、わが国のすぐれた芸術家は大都市に集中する傾向にあり、公演なども東京、名古屋、大阪などの大都市で開催され、地方都市で催されることは極めてまれなことです。

しかし、このたび中濃体育館では、日ごろ利用の少ない階層の人たちのために、地方公演は極めてまれといわれる『日本民族舞踊団特別公演』が行なわれます。

この舞踊団は昭和三十七年に多くの著名な舞踊家や音楽家などが中心となって設立され、東京国立劇場をはじめ、ヨーロッパ諸国などへ八回にも及ぶ海外公演の実績があり、この当地公演の機会を得たことは、同舞踊団事務局長・木村秀夫さん（蜂屋町出身）の好意によるものです。多数おこしください。

日時 十一月二十七日（日）午後一時半開演
場所 中濃体育館
入場料 全自由席（一）は当日券 一般千円（千二百円）、六十五才以上の者、高校生五百円（六百円）、小中学生三百円（四百円）
発売 十一月二日より中濃体育館、市役所、各連絡所

所得税第2期分

納期は今月30日

11月は所得税の予定納税第2期分を納める月です。納税額はすでに最寄りの税務署から通知されていますので11月30日までに納めてください。

なお、災害、転・廃業、扶養者の増加などがあり、昨年の税額より少なくなると見込まれるときは予定納税額の減額申請を11月15日までに税務署へ提出してください。

また、税金を納めるときは、預金口座から振替する振替納税制度を利用されると便利です。

移動年金相談所を開設

市では、多治見社会保険事務所と市農業委員会の共催で、年金相談所を開設いたします。

10日	三和連絡所	9:00~12:00
11日	伊深連絡所	9:00~12:00
12日	加茂野連絡所	9:00~12:00
13日	蜂屋連絡所	9:00~12:00
14日	山之上連絡所	9:00~12:00
15日	下米田連絡所	9:00~12:00
16日	下古井公民館	9:00~12:00
17日	市役所・玄関ホール	9:00~12:00

市総合体育大会 20・23日

第13回市総合体育大会がスポーツの振興と、市民の健康増進を目的に今月20日に開催されます。参加希望者は15日までに地区体育振興会を通じて中濃体育館へ申し込みください。

・軟式野球：20歳代2人、30歳代4人、40歳代3人が常時出場してプレーすることができチーム。

・卓球：一般男子、家庭婦人、中学生

・バレーボール：一般男子、家庭婦人、スポーツ少年団

・ソフトボール：40歳以上男子と家庭婦人

・ゲートボール：30歳代、40歳代50歳代、60歳以上（人数に制限がありません）

ただし、ゲートボールについては11月19日まで申し込みを受け付けします。

きつけ特別教室生を募集中

公民館では、着物をより美しく着るために「きつけ教室」を開設して、好評を得ております。

新池北に初栄冠

自治会親善野球終る

ことし第十回を迎えた自治会親善野球大会は、各地区から百十五チームが参加して九月初旬から熱戦が展開され、九月二十五日、大会の幕を閉じました。

優勝戦は前平球場で、新鋭の新池北と、前年優勝の西町北チームによって争われました。

新池北チームは初回の表に先取点をあげ、その裏には西町北に同

清流

ある女子大を卒業したA子は、明るい希望を胸に、就職することになった。

初めて親もとを離れて下宿生活することになった彼女は、新しい生活に魅力と生がいを感した。しかし、今まで身の回り

ほんとうの親心

三和町 小酒井 春雄

所用を済まして勝手場に戻ったおばあさんは、A子を見て横転した。というのは、A子がなにげない顔つきで、煮え湯の鍋の中から3センチ程に切ったホウレン草を取り出し、皿の上に切り口を揃え



初優勝した新池北チーム

渡雅仁、矢口富士朗、伊佐治一三

ながら並べていたのである。でも日ごろ食前に、皿に盛られて出されたホウレン草しか知らなかったA子としては無理からぬことである。

これはあまりにも極端な例であるが、親は我が子の世話をしすぎではないだろうか。

お知らせ

秋を彩る 文化の催し

美術展

中央公民館 11月12日から14日まで

音楽祭

山手小学校 11月20日午前10時30分

子ども展

中央公民館 11月20日から23日まで

森山団地入居者を募集

52年度積立分譲住宅（森山団地）の募集を行っています。希望者はご応募ください。

・申込期限 11月12日

・募集戸数 25戸

・受付場所 県住宅供給公社 業務課（〇五八二四一一一内線五一三）、または市管財課までおたずねください。

結核住民検診（二次）の実施

7月に実施した結核住民検診で受診されなかった方や学校職場で受けなかった方を対象に、次により検診を実施しますのでおでかけください。

該当者：昭和37年4月1日以前に生れた方

24日	22日
下米田連絡所 10:00~10:15	三和連絡所 11:00~11:15
伊深連絡所 11:00~11:15	加茂野連絡所 13:00~13:15
山之上連絡所 13:00~13:15	蜂屋連絡所 14:00~14:15
下古井公民館 14:00~14:15	下古井公民館 15:00~15:15
市役所 15:00~15:15	市役所 16:00~16:15

別教室を設け、お化粧、着付のポイントなどを中心に親と子で学ぶ教室を12月に開設いたします。ぜひご参加ください。

・日時 12月13日~12月16日 午後7時~9時

・場所 下古井公民館 2階

・定員 40人（20組）

・学級費 800円

・申込先 下古井公民館

・電話 可（〇二四八二二）

・締切日 定員になり次第締切

なお、詳しくは上古井公民館（〇四二九〇）までお尋ねください。

中濃体育館だより



月	日	曜	行	事
11	3	木	第20回市民文化祭	
	4	金	可茂郡市消防団長及び主任者会議	
	6	日	児童福祉協議会卓球大会	
	11	金	神社庁加茂郡支部総会	
	12	土	市体協20周年記念大会(12・13日)	
	14	月	子宮ガン検診(15・16・17・18日)	
	15	火	幼児のスポーツ活動指導者講習会	
	20	日	琴発表会	
	23	水	第13回市総合体育大会 (バレーボール競技会場)	
	26	土	親子劇場演劇観賞	
	27	日	市老人福祉大会	
	ㄗ	ㄗ	中農体育館開館5周年記念 「日本民族舞踊団特別公演」 詳しくは6ページをご覧ください	
	30	水	加茂農業婦人クラブ運動会	
12	2	金	自動車二級整備士講習会	
	3	土	宮西一子ども会スポーツ会	
	4	日	大楽子ども会スポーツ会	

休館日 9日(第2水曜日)

11月23日は休館日に当たりますが市総合体育大会のため午後5時まで平常どおり開館します。

伊深小の落成式

伊深小学校は、明治三十六年に建築された東校舎と、大正十一年に増築された西校舎があり、長い間、この両校舎で授業を行っていましたが、昭和四十一年、近代的な鉄筋コンクリートの校舎として生まれかわることになりました。

まず西校舎をとりこわして新校舎の西半分を建て、つぎに東校舎を取り除いて残りの東半分を建てるという順序で工事が進められ、総工費二千四百九十三万円をかけた。

て、十月十五日に竣工しました。新校舎の特色は、最新の器、特に視聴覚の機器を全とり入れたことで、校内ラ送はもちろん、各教室にテレビをそなえ、NHKの教育テレビのほか、こどもたち自身が作成した番組も、各教室に流すことができるようになっていて、大きな教育効果が期待されています。

十一月二十三日、二百人の来賓を招いて落成式が盛大に行われ、伊深の里人たちと、伊深小の堀部万寿夫校長はじめ職員・児童一同は、この喜びをわかちあいました。



改築後



改築前

伊深小学校

あの日

(35)

今月の相談

妊婦學級

10日・24日 産業文化会館

1時
～
4時

育児相談
(12月)

2日 下古井公民館

1
時
～
3
時

成人病相談

15日 下米田小山觀音堂

15日 牧野公民館 1時～2時

18日 加茂野連絡所9時～11時

心配ごと相談

每週水曜日 中央公民館

第3水曜日は、家庭裁判所職員が家事相談に応じます。

秘密厳守
1時～4時

結婚相談

每週土曜日 産業文化会館

秘審庫

高令者無料職業紹介

市役所 1時30分～3時

1 歳半幼児検診

25日 産業文化会館

▽対象児
51年4月生

二種混合予防接種

熱のある子(37度以上)やひきつけをおこしたところのある子は

今月の納期

11月21日限り

国民年金保険料 3

農地法許可申請

今月10日までに

農業委員会で、毎月審議される農地法許可申請書の提出期限が、12月審議分に限って11月10日締め切りとなります。

今年中に審議を必要とされるものについては、早めに市役所農業委員会事務局まで提出してください。

16	15	14	13	12	12/9			
山之上連絡所	蜂屋連絡所	上古井公民館	下古井公民館	産業文化會館	加茂野連絡所	下米田連絡所	三和連絡所	伊深連絡所
3 00 3 30	1 30 2 00	3 00 3 30	1 30 2 00	1 30 2 00	1 30 2 00	1 30 2 00	3 00 3 30	1 30 2 00

受けられません。
・ 該当者 昭和50年9月1日～51年4月30日生